

第1回 整形外科セミナー

整形外科 後期研修医2年目のとある1日

富良野協会病院 整形外科 三浦 優

経歴

- ▶ H17年10月 旭川医科大学医学部編入学
 - ▶ H22年3月 旭川医科大学医学部卒業
 - ▶ H22年4月 旭川医科大学病院で初期研修
総合プログラム:
1年目 内科・救急・選択
2年目 地域(礼文) + 整形外科
 - ▶ H24年4月 旭川医科大学病院整形外科勤務
 - ▶ H24年7月 士別市立病院勤務
 - ▶ H25年4月 富良野協会病院勤務
-

初期研修

▶ 総合プログラム:

1年目 救急・選択・内科

救急科:麻酔科、救急科、選択整形外科1ヶ月

選択科:麻酔科1ヶ月

選択科:小児科(NICU)2ヶ月

内科:循環器2ヶ月・呼吸器3ヶ月・糖尿病1ヶ月

実際に入局を表明したのは1年目の9月頃だったと思います。研修センターに取りはからっていただき、途中でローテーション変更もしていただきました。こういうことが可能だったのも大学で研修して良かった事だと思います。

初期研修

▶ 総合プログラム:

2年目 専門科11ヶ月 + **地域(礼文)**

整形外科ローテーション



上肢班
脊柱班
股関節班
腫瘍班
下肢班

私は整形外科を11ヶ月全て選択し、地域研修でそれを少しでも生かしたいと考えていました。そのため2年目の最初の9ヶ月で整形外科の3つの班のローテーションを終え、礼文島に行ってきました。診療所では一人で関節注射、シーネ巻き、褥創処置などをさせて頂きました。自分の経験から地域実習は2年目の後半に行くこともおすすめです。



整形外科 後期研修: 1年目

▶ H24年4-6月 旭川医科大学病院整形外科勤務 手術器械・手技勉強会

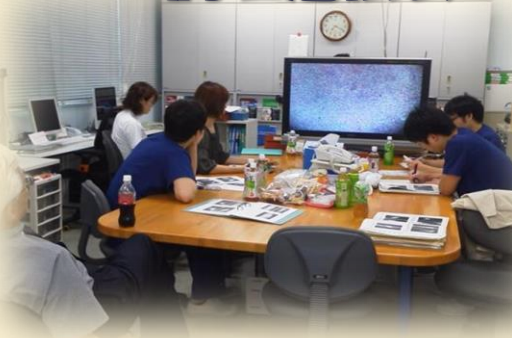


大学では、私達のために手術器械・手技の勉強会、さらに松野病院長による病理勉強会も定期的にしてくださっていました。

カンファ準備



病理勉強会



後期研修医の1番の仕事はカンファレンスの準備です。これはカンファレンスの為ではなく自分の勉強のためのものです。上の先生がどのように診断し、治療方針を決定したかなどを実際にいろいろと勉強しながら準備していきます。困っていると上の先生が教えてくれたり、ヒントをくれます。

整形外科 後期研修 アルバイト

▶ H24年4-6月 旭川医科大学病院整形外科勤務

→ 平日:市内の病院の外来

→ 休日:市内の病院の救急外来

実際に担いでいった本



何といっても一人ぽっちなので心細いのと、どんな患者さんが来るのかわからない当直はドキドキでした。朝9時から翌日の朝7時までの当直でしたが、前の日から当直していた三好先生がお昼までいてくださり、夜には柴田先生が様子を見に来てくれ、阿部先生が途中でメールをくれたりと、万全なバックアップ体制をしいていてくれた気がします。

整形外科 後期研修 学会

国内学会も参加させてもらいました。右の写真は小児整形で発表した時のものです。



整形外科 後期研修 AAOS

アメリカ整形外科学会にも連れて行ってもらえました。学会のついでに観光もしてきました。楽しかったです。



整形外科 後期研修: 1年目

▶ H24年7月-H25年3月 士別市立病院勤務

士別市立病院



→ 外来

✓ 週2回

→ 病棟業務

✓ 週3回

→ 手術(麻酔科常勤あり)

✓ 水・木曜日、その他臨時手術(待機的)

→ 全科当直

✓ ほぼ週1回(脳疾患・心疾患・ICU管理が必要な場合他は搬送)

外来も執刀も初めてだらけの経験でしたが、上の先生方がこれでもかと言うほど手厚く指導してくださいました。慢性疾患から外傷まで幅広く学ぶことができました。

整形外科 後期研修:2年目

▶ H25年4月～

富良野協会病院勤務



→ 外来

✓ 週3回

→ 病棟業務

✓ 週2回

→ 手術(麻酔科常勤なし)

✓ 火・水・木・金曜日、その他臨時手術多数(基本的に当日)

→ 全科当直

✓ ほぼ週1回(脳疾患・心疾患・ICU管理が必要な場合他は搬送)

観光地やスキー場があり、季節をとわず手術件数が多く、できるだけ即日手術の方針です。しかし麻酔科の常勤医がいないため、自分達で麻酔をかける機会も多いです。

後期研修：施設

▶ 関連病院：13病院

- 旭川療育センター
- 旭川赤十字病院
- 富良野協会病院
- 公立芽室病院

- 帯広協立病院
- 恵み野病院
- 士別市立病院
- 名寄市立総合病院



私たちがローテーションできる病院はこの中でも限られており、医局人事で決まります。希望調査もあります。

- 市立稚内病院
- 遠軽厚生病院
- 北見赤十字病院
- 北見小林病院
- 帯広開西病院

とある1日(ハンフィクションです！)①

- ▶ **8:30** 本日は病棟当番の日。
本日手術予定の患者さんに会いに病棟へ。
2週間前に車にはねられ受傷。**多発外傷**
で、1週間前に骨盤の手術を終え、
本日両下肢の手術に臨む予定。
術前採血でHb 8.0台で、術前RCC2単位
輸血の指示出し。

とある1日③

- ▶ 8:50 **病棟**で昨夜の患者の申し送りを
看護師より受ける。当日処方など入力。
外来へ行こうと思っていたところで外来より
電話が・・・「自転車で転倒して股関節を
痛がっている患者さんが 来てまーす！」と。
 - ▶ 9:00 **外来**で、その患者さんの問診、レントゲン
order。そのままレントゲンへ移動、大腿骨
近位部骨折の診断。外来へ戻り、上の先生方と
本日の予定と骨折患者の**作戦会議**。
-

とある1日③

いつやる(手術)の？

→ 今(今日)でしょ！

使う器械は？

→ 決まってるでしょ！

▶ **9:00** **外来**開始と同時に手術・入院準備。

とある1日④

- ▶ 10:00 病棟へ。前日、三好先生に手術(腱板縫合)していただいた患者の処置、大学で人工股関節置換術を受けた患者さんと病棟を歩いてリハビリの経過を確認したり・・・、退院予定、ソーシャルワーカーへの連絡、採血結果、レントゲンorder、etc。
- ▶ 12:00 骨折のご家族・ご本人へ術前説明。
- ▶ 12:30 残りの予約外外来患者の診察へ。
- ▶ 13:30 13:00に入室している1件目の手術室へ。
- ▶ 15:45 1件目が閉創に入ったところで、2件目の麻酔へ。

とある1日⑤

- ▶ 15:45 2件目の大腿骨近位部骨折患者が手術室へ。
- ▶ 16:00 自分で麻酔。
- ▶ 16:15 麻酔の効果を確認している間に、1件目の患者のレントゲンを確認。



とある1日⑥

- ▶ **16:30** 手術開始。上の先生に指導していただきながら手術。(ビデオ)



とある1日⑦

- ▶ 17:30 手術終了。ご本人へ説明。
- ▶ 17:35 レントゲン確認。
- ▶ 17:40 ご家族へIC。
- ▶ 17:45 看護師さんからの申し送り。
- ▶ 18:00 医師のカンファレンス。
整形外科から整形外科の仕事へ。
- ▶ 18:30 病棟・外来患者のレントゲンカンファ。



とある1日⑧

- ▶ 18:40 第8胸椎椎体骨折で入院するも、
痛みが持続する90代の患者の
レントゲンチェック。
臥位vs座位で不安定あることを確認。
 - ▶ 19:00 精査すべくCTをorder。
医大の脊柱班の先生に連絡することに。
 - ▶ 20:00 医局へ戻り、手術記録記載、外来患者
および翌日の手術の勉強など。
 - ▶ 22:00 帰宅
-

執刀した手術

▶ 症例

- 大腿骨頸部・転子部骨折(骨接合・人工骨頭)
- 大腿骨顆上骨折(髓内釘)
- 足関節両果骨折
- 上腕骨近位骨折(髓内釘)
- 橈骨遠位骨折・橈骨頭骨折・尺骨骨幹部骨折
- 手指骨骨折
- 軟部腫瘍摘出

- ▶ 上の先生の指導の下、症例は本当に多く、いろいろ手術させてもらっています。
-

後期研修：待遇(富良野協会病院の例)

▶ お給料：10月の実際の明細

基本給		円
医師手当		円
地域手当		円
診療手当		円
当直(3回)		円
早出呼出手当		円
計		円

この他、研修費
が年間 円
あり、学会参加
や本の購入もで
きます。

(実際に諸々引かれて 円が通帳へ)

- ▶ 休暇： 夏休み 1週間 + 前後の土日 = 9連休
お正月休み 3日

全科当直：一人で何科でも診る！

- ▶ 大多数の病院でなければ行けません。
- ▶ 当直医マニュアルは必須。
- ▶ 横のつながりも大事です！

特に他科の同期は頼もしい！

- ▶ 縦のつながりも大事です！

研修は大学や同門の多いところ
でした方が良くかもしれません。
本当に困ったときに力になって
くれます。



私は大学で研修し、いろいろな科の先生にお世話になり、顔も覚えてもらっていたので、外病院に出た今でも他科の先生には助けられていますし、逆に頼られたときには全力で応えようと努力します。

初期研修って大事です！

- ▶ 全科当直
- ▶ 病棟から・・・
 - ✓ 「先生、JCS300です、来てください！」
 - ✓ 「おしっこ出てませんけど。」
 - ✓ 「喘息発作起こしてます！」
 - ✓ 「Pafで気持ち悪がってます」
 - ✓ 「下腹部痛いって言ってリハビリしません」
 - ✓ 「大腿に皮疹出てます、診てください」
 - ✓ 「・・・」「輸血ルートとれません」etc.

整形外科は手術・処置を除いて、保存療法も含めて整形内科医をしている時間の方が長いかもしれません。



おまけ：旭川医科大学 整形外科

医者っていろいろしています。
整形外科の忘年会は踊ったり、演じたり、毎年楽しいです。

医局忘年会



おまけ：旭川医科大学 整形外科

大学の医局対抗の野球もあります。



医局野球

おまけ: 旭川医科大学 整形外科



日整会野球

おまけ：旭川医科大学 整形外科



仕事だけでなく、
イベントも多彩です。

日整会サッカー（H25年10月20日富良野にて）

おまけ：入局を決めた瞬間 ?!



村田宗平先生

二田水千里先生

萱場くん



おまけ：私の同期

光武遼先生



村田宗平先生

同期は大切です！辛かったことも、うれしかったことも話せるのは同期だと思います。これは同期がそろって働いた最後の日の写真です。自分の同期もどこかで頑張っていると思うと、自分もガンバるような気がします。

H24年3月31日 整形外科医局若手部屋にて・・・

撮影：阿部里見先生

私が整形外科医になった理由

- ▶ **気がついたら入局していた！！（本当）**
- ▶ **整形外科のポリクリで、患者さんの背中や膝など身体に手を触れながら、時にはひざまづいて診察・話を聞いている先生を見たとき、「医者だな～」と感じたから。**
- ▶ **整形外科の6年生のアドバンス実習で療育センターに行く機会を与えていただき、脳性麻痺の児が装具により、歩行能力が拡大しうれしそうにしている姿を見て「整形外科医ってすごい！」と知ったから。**



私が整形外科医になった理由

- ▶ 研修医1年目のNICUの研修で、実は先に回った整形外科の研修で整形に心が傾いて、そのことを話したとき、新生児科の先生に「医療は確実に進歩していて、昔は助けられなかった命が助けられるようになったが、本当に助けた命が幸せかどうかはわからない。

実際に家族にどうして助けたんだと言われたこともある。

しかし、療育センターのような施設で、自分たちが助けた命を少しでも幸せにしてくれる 医師(整形外科医)がいるから、

自分たちは正しいことをしているんだと日々頑張れるんだ。」と言われたことが最大の理由だったと思います。

旭川医大整形外科医局に入局して。

- ☆ 症例数が多く、早くからいろいろな経験ができます。
- ☆ 困った症例は上の先生や大学の専門班の先生にいつでも相談でき、また助けに来てくださいます。
またその連携がスムーズで安心です。
- ☆ イベントも多く、とにかく明るい医局です！
- ☆ 飲み会ではしゃぎすぎて次の日が辛いことも多数ありますが、それもまた笑い話(伝説)になります。
- ☆ 少しでも興味がある方は、是非医局へ訪ねてみてください！きっと出前をとってくれたり、飲み連れで行ってくれると思います！

最後に

- ▶ 何科になるにせよ**医師**って**大変**です！
- ▶ 特に**整形外科医**って**大変**かもしれません。
- ▶ 自分が信頼できる医師に診てもらいたいように、そう近づけるように毎日格闘しています。
- ▶ でも、毎日が充実していて、さらに昨日一人でできなかったことが今日一人でできると、疲れていても帰る足取りは軽かったいします。。
- ▶ 何年後かどこかで一緒に働けることを祈っています。
- ▶ 患者さんも自分も幸せにできますように。。

若手先輩からのメッセージ

「外科よりも外科、
内科よりも内科
してるって感じかな(^ー^)」
もう少し話を聞いてみたいって人は
来年参加して連絡下さい！

倉持先生からもメッセージ
を預かってきました。



毎日が充実しています！！